

パネル3 モデレーター・パネリスト略歴

モデレーター

木寺 昌人（外務省総合外交政策局審議官）

パネリスト

熊岡 路矢（日本国際ボランティアセンター（JVC）理事・カンボジア市民フォーラム事務局長・国際協力NGOセンター（JANIC）副理事長・東京大学大学院特任教授）

東京外国語大学中国語学科中退。1980年のタイでの日本国際ボランティアセンター（JVC）の創立メンバー。国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）シンガポールに出向後、JVCカンボジア代表、ベトナム代表を歴任。1993年に「カンボジア市民フォーラム」を創設、事務局長を兼任。1995年よりJVC代表を11年間務め、2006年より同理事。国際協力NGOセンター（JANIC）副理事長、東京大学大学院総合文化研究科「人間の安全保障」プログラム特任教授なども務める。著書「カンボジア最前線」、共著「子どもたちのイラク」（岩波書店）など。

パネリスト

桑島 京子（独立行政法人国際協力機構（JICA）社会開発部第一グループ長）

京都大学卒業。米国ハーバード大学大学院修士課程修了（東アジア地域学修士）。JICA中国事務所、国際協力総合研修所主任研究員などを経て、現在社会開発部第一グループ長。2002年より、学習院女子大学非常勤講師（国際協力論）。専門は、政策科学、ガバナンス、キャパシティ・ディベロップメント。著作に、『キャパシティ・ディベロップメント（CD）ー』（共著、JICA, 2006年）、『JICAにおけるガバナンス支援調査研究報告書』（共著、JICA、2004年）、『民主的な国づくりの支援に向けて』（共著、JICA、2003年）ほか。

パネリスト

野口 元郎（国連アジア極東犯罪防止研修所（UNAFEI）教官・法務省法務総合研究所教官兼外務省国際法局国際法課付検事・カンボジア特別法廷最高裁判所判事）

東京大学法学部卒業。1985年検事任官し、東京地検等で捜査・公判に約10年間従事。1996年以降、法務省法務総合研究所教官、アジア開発銀行法務部カウンセラー、国連アジア極東犯罪防止研修所（UNAFEI）教官として、発展途上国の法整備支援活動、国際研修等に従事。2004年から外務省国際法局併任。2005年国際刑事裁判所 visiting professional。2006年8月からイェール大学ロースクール国際人権センター等 visiting fellow。2006年5月からカンボジア特別法廷最高裁判所判事併任。

パネリスト

廣野 良吉（成蹊大学名誉教授・NPO法人ADP（民主化・平和構築支援）委員会理事長）

1956年シカゴ大学大学院経済学研究科卒業。専門は開発経済学。成蹊大学経済学部教授、欧米・アジア・アフリカ諸国の大学で客員教授、国連開発政策委員会議長、日本評価学会副会長、国際開発学会長、経済審議会、対外経済協力審議会、中央環境審議会、林政審議会委員などを歴任。現在、日本ユニセフ協会等各財団理事、政策研究大学院大学客員教授。